

会議室とZOOMを組み合わせて研究会活動を再開

最近の状況

NEWS LETTER第11号をお届けします。新型コロナウイルスの国内の感染者は全国累計で3万人を超えました。コロナ対策と本格的な社会経済活動の両立に向けた更なる努力が必要ですが、一日も早いコロナ問題の終息を願うばかりです。

With コロナの活動を開始しました

6月12日の幹事会決定を踏まえ、7月16日（木）に東京都千代田区 神田三崎町の貸会議室で会議室とZoomを組み合わせて定例会を開催しました。参加者は、会議室5名、ZOOM参加4名の計9名でした。会場は、従来の会議室の3倍くらいの広さがあり、新型コロナ対策の面からも、参加者の会場の評判はまずまずでした。会議では、工藤さんから、国連を中心とする国際機関とブレトンウッズ会議で設立された世銀グループを頂点とする国際開発金融機関（MDBs）の関係の説明のあと、安間さんより、水道公論11月号と12月号に連載予定のADBのPPP案件取り上げ状況とベトナムの水道事業案件について、DNPを例に説明があり、その後、ベトナムにおけるビジネスについて、突込んだ意見交換が行われました。会議室との組み合わせによって、テレワークだけとは違った議論の内容の濃さが確保できたようです。



定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が8月14日（金）20時から20時40分
- ZOOM準定例会が8月20日（木）20時から21時20分 講師は富岡さんで、主要地方自治体の上下水道事業の今後の展望（仮題）
- 9月17日（木）12時～14時に会議室とzoom、会場は、7月と同じ神田三崎町。東京ガスの桜井さんからの話題提供。

水道公論8月号の予定

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、ベトナムワーキンググループ報告（第2回）「ベトナムで水PPPビジネスを成功させる戦略」を、「海外水ビジネスの眼」では、「2050年カーボンニュートラル」を掲載します。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。